



別府市東京事務所トピックス

- BEPPU CITY TOKYO OFFICE TOPICS -

九州地区の経済と暮らしを支える港づくり意見交換会・懇談会

経済と暮らしを支える港づくり全国大会 令和5年10月18日(水)、19日(木)

10/18(水)に九州地区の経済と暮らしを支える港づくり意見交換会・懇談会、10/19(木)に 経済と暮らしを支える港づくり全国大会が開催され、岩田弘別府市副市長と参加しました。

【九州地区の経済と暮らしを支える港づくり意見交換会】10/18(水) 全国都市会館にて

日本港湾協会九州地区連合会、各市町村長、国土交通省九州地方整備局、国会議員の方々に港について意見交換会が開催されました。

岩田弘別府市副市長が、令和3年に築港150周年を迎えた別府港についての現状や、フェリーの大型化への対応・にぎわい創出を図るための事業による更なる発展について意見を述べました。



【九州地区の経済と暮らしを支える港づくり懇談会】 10/18 (水) 海運クラブにて

意見交換会の後、日本港湾協会九州地区連合会主催の懇談会が開催されました。

大分県のテーブルでは古庄玄知参議院議員、大分県港湾課長、大分市土木建築部長とご一緒に歓談しました。



【経済と暮らしを支える港づくり全国大会】 10/19 (木) 砂防会館別館にて

全国各地から港湾管理者をはじめとする港湾関係者約 1,100 名が参加し、大会内で「港湾の整備・振興に関する要望書」を提案し、満場一致の賛同を得て、日本港湾協会会長から古川国土交通大臣政務官に要望書が手渡されました。



別府港は、九州の東の玄関口として明治時代から発展し、現在では、国内の海の交通航路の拠点としてはもちろんのこと、最近では海外からの大型クルーズ船の受入れ体制も整えられ、国内外から多くの観光客をお迎えする大きな役割を果たしています。さらに多くの観光客の方々に別府に足を運んでいただけるよう、別府観光のさらなる発展に前進して参りたいです。